

カーボンニュートラル(ゼロカーボン)に 向けた取組について

～河畔林の有効活用について～



河畔林の有効活用について（木材バンク）

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

【取組主旨】

- 洪水氾濫防止対策として河畔林の樹木伐採を実施しているが、昨今、その伐採木の一部についてはバイオマス資源として有効活用されている。
- 政府は、温室効果ガスの排出削減計画における目標を2030年度までに46%削減（2013年度比）と宣言。
- 目標達成に向けた「ゼロカーボン北海道」における取組の一つとして、河道内の伐採木について、バイオマス資源としての更なる有効活用を加速するための新たな取組を開始。
- これまで、北海道開発局・北海道が河川管理に当たり個別に実施してきた有効利用の取組について、ホームページ等において一括した情報提供等（「木材バンク」）を行うことにより、バイオマス事業者等への更なる活用推進を図るとともに、カーボンニュートラルに寄与。

河川管理者



樹木伐採



伐採木の仮置き

バイオマス事業者（発電・ボイラー等）等



運搬－チップ化



発電燃料として利用

＜木材バンク＞

河道内から発生する伐採木に関する情報提供
（予定数量、保管場所、保管時期等）

＜バイオマス事業者等＞

全道の幅広い情報によるバイオマス資源活用の促進
集積場所の集約により、搬出の効率化・
安定使用に寄与

木材バンクの流れとスケジュール(予定)

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

木材バンクの流れ

①情報公開・手続

【木材バンクホームページ
(北海道開発局)】

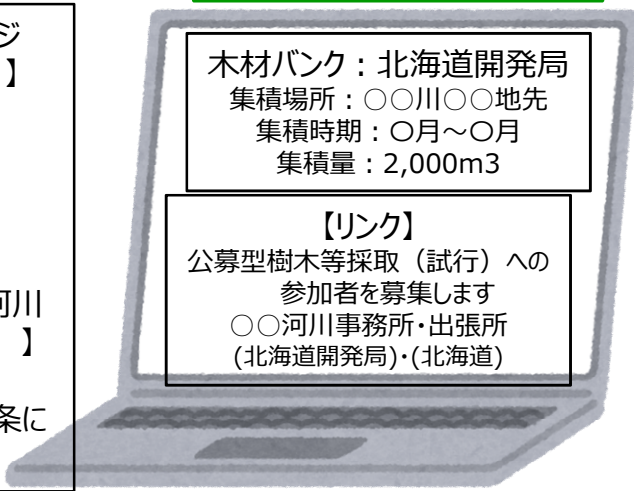
- ・集積場所
- ・集積時期
- ・集積量

↓リンク

【募集ホームページ(河川事務所・出張所等)】

- ・採取募集、受付
- ・手続(河川法第25条による許可)

北海道開発局・北海道
における河畔林伐採木
情報の一括掲載



②伐採・採取実施※公募採取料は無料

【採取・集積(北海道開発局・北海道)】
・河川管理者において伐採し、集積場に堆積

【搬出・利用(採取者)】
・採取者自ら伐採木を積込・搬出・利用



河川管理者が伐採・集積

採取者が積込・搬出・利用



木材バンク実施スケジュール(予定)

令和3年度

実施に向けた調整・整理

- ・発生予定量の把握
- ・集積場の調整
- ・受渡方法の整理 等

バイオマス事業者への
需要等の聞き取り

令和4年度

木材バンク(試行) ※随時更新

募集・受付 ※随時実施

伐採・搬出・利用 ※随時実施

河畔林の有効活用について(ヤナギの有効利用研究会)

道内の河畔林にはヤナギが多く繁茂しており、伐採したヤナギを有効活用して地域産業等を支援するシステムの構築を検討

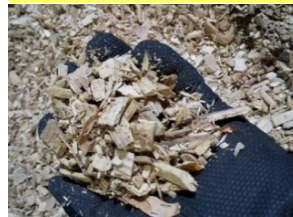
関係機関：北海道大学北方圏フィールド科学センター、帯広畜産大学、北海道立総合研究機構林産試験場、民間企業5社、下川町森林組合、下川町特用林産物栽培研究所、北海道開発局、北海道、寒地土木研究所

活動内容

河畔のヤナギの伐採・運搬



チップ化・高温高圧の水蒸気で処理し飼料に活用



家畜に対する飼料の効果を検証

おが粉製造・菌床製造



菌床栽培への活用



収量増加や高品質化の検証

炭化



農場への散布

農地施用による炭素循環に対する効果を検証

今後の予定

令和3年5月に研究会を立ち上げ、伐採木を加工する場所の検索、各研究の課題等を整理し、10月～11月には伐開を実施し、研究材料の加工を行った。今後は、効果の検証を行い研究成果を取りまとめた上で、全道展開を予定。